

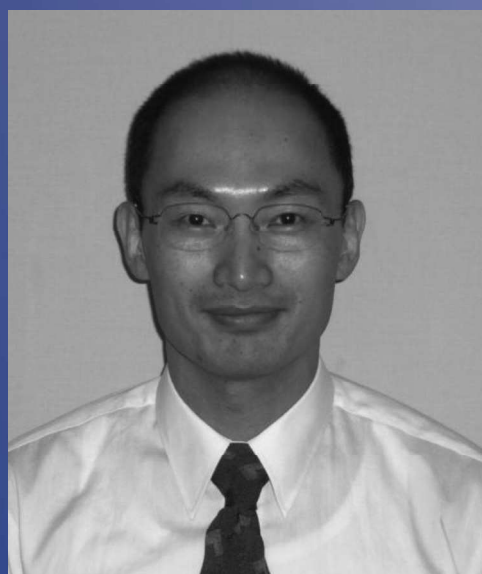
# 第 52 回未来医療セミナー

## 軟骨コラーゲン遺伝子転写制御と軟骨発生・再生

大阪大学大学院医学系研究科  
骨・軟骨形成制御学

妻木 範行

軟骨は、胎児期は骨格の鋳型として体を支え、生後は関節の表面を構成して体の運動をつかさどる。関節軟骨の損傷・変性は運動機能を障害し、多くの人たちに動作時の疼痛を引き起こしている。しかし現状の医療では軟骨の修復は困難である。軟骨の運動機能は、軟骨細胞外マトリックスの物質特性が担う。我々は軟骨マトリックス遺伝子の転写制御機構を解析し、その活性を利用して軟骨発生のしくみを研究してきた。そしてそこで得た知見をもとに、再生医療に供するような軟骨組織の誘導を試みている。軟骨マトリックスを構成する XI 型コラーゲン $\alpha 2$ 鎖をコードする遺伝子の転写活性解析を中心に、軟骨発生・再生研究における我々の取り組みを紹介したい。



主催: 大阪大学医学部附属病院未来医療センター  
未来医療交流会

後援: 文部科学省橋渡し研究支援推進プログラム  
大阪大学「TR 実践のための戦略的高機能拠点整備」

連絡先: 未来医療交流会(大阪大学医学部附属病院未来医療センター内)  
Tel: 06-6879-6557, 6551, Fax: 06-6879-6538  
E-mail: koryukai@hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp  
<http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp/>

2010.3.30  
18:00~19:00

大阪大学医学部講義棟 B 講堂

MTR